

NEWS CLIP & AV MATERIAL

◎ ニュースクリップ&映像教材



■ 「eスクール2010高知」高知市で開催される

文部科学省・eスクール2010協議会主催による「eスクール2010 高知」が、さる11月20日～22日、高知市・イオンモール高知において開催され、延べ670名の参加者を得て、ICTを活用した模擬授業や有識者の講演が、広く市民の目の前で繰り広げられた。また、22日は高知県教育委員会主催による「平成22年度学校ICT活用促進研修会」が同会場で開催され、高知県内185名の教員がeスクールのプログラムに参加した。当日の様子は後日、<http://e-school.nicer.go.jp/>で動画にて公開される。

NEWS CLIP

AV情報

■ パナソニック教育財団「第37回実践研究助成」募集開始

(財)パナソニック教育財団では、ICTを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画を助成する。

〈内容〉 ○一般(1年間の研究)研究課題は自由。
○特別研究指定校(2年間の研究)には、①確かな学力の育成にむけたICTの活用、②人間力の育成のための単元・カリキュラム開発の2つの課題を設定。

〈応募資格〉 小・中・高等学校、特別支援学校、教育研究グループ、教育センター、教育研究所、海外日本人学校。ただし、特別研究指定校は、小・中・高等学校、特別支援学校(在外教育施設を除く)を対象とする。

〈助成内容〉 ○一般 助成金50万円×70件程度。
○特別研究指定校 150万円×4件程度。

〈成果報告〉 所定の成果報告書の提出と成果報告会等での報告、特別研究指定校は、所定のホーム

ページによる情報発信、公開(学校公開、授業公開等)と所定の成果報告書の提出と成果報告会での報告。

〈応募方法〉 所定の申請フォームに必要事項を記入し、財団ホームページより申請。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.pef.or.jp>

〈募集期間〉 平成22年12月1日(水)～平成23年1月31日(月)。結果発表は、平成23年3月中旬。

〈問い合わせ〉 (財)パナソニック教育財団

TEL 03-5521-6100

研究会情報

■ 平成22年国立情報学研究所市民講座「未来を変える情報学」

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所による標記講座が、下記のように行われる。

〈日時〉 平成23年1月19日、2月16日、3月23日すべて(水)18:30～19:45

〈会場〉 学術総合センター2階（東京都千代田区一ツ橋2-1-2中会議場）

〈内容〉 各回のテーマと講演者は、以下の通り。第7回（1/19）「マルチメディアと検索技術 キーボードを使わずに検索するには？」片山紀生氏、第8回（2/16）「脳でモノを見る 脳の中に創られる世界とは？」臼井支朗氏、特別回（3/23）「新しい情報社会の扉を開く量子技術 量子コンピュータは本当に実現できるのか？」山本喜久氏。なお、これまでの講座内容については、動画配信もされている。

トップページ（<http://www.nii.ac.jp/>）内の〔市民講座〕からアクセスできる。

〈申し込み方法〉 参加希望者は、「国立情報学研究所 市民講座申込み」と明記し、（1）参加希望回、（2）氏名、（3）連絡先（勤務先、電話番号、メールアドレス等）を記入の上、メールまたはファックスにて、下記〈問い合わせ〉へ、申し込む。入場無料。定員になり次第締切。

〈問い合わせ〉 国立情報学研究所 市民講座担当
TEL 03-4212-2145 FAX 03-4212-2150
MAIL shimin@nii.ac.jp

コンクール情報

■ 第37回教育コンテンツ国際コンクール「日本賞」を決定

NHKでは、教育コンテンツの国際コンクールとして、標記コンクールを開催し、最も教育効果が高く、教育放送の発展に寄与するコンテンツに贈られる「グランプリ日本賞」を、平成22年10月27日（水）、下記のように決定し、授賞式を行った。○グランプリ日本賞「素数の魔力に囚われた人々 ターリーマン予想・天才たちの150年の闘い」（日本）○文部科学大臣賞「大科学実験 音の速さを見てみよう」（日本・カタール）○総務大臣賞「ゾウさんだいき第131話」（ドイツ）○外務大臣賞「シリアの学校」（イギリス）○NHK会長賞「自分でできるよ」（カナダ）他。なお、応募作品は、64の国と地域から、409作品であった。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.nhk.or.jp/jp-prize/index_j.html

■ 映文連アワード2010受賞作品決定

（公益社団法人）映像文化製作者連盟では、短編映像業界の活性化を図ることを目的に、作品を顕彰する標記アワードにおいて、下記のように受賞

作品を決定した。

○最優秀作品賞（グランプリ）「生きもの 金子兜太の世界」（46分、（株）ポルケ）○文部科学大臣賞「海の世界 太陽からクロマグロをつなぐエネルギーの流れ」（5分、太陽企画（株））○経済産業大臣賞「ISM MILBON DOCUMENTARY 2010—50th.ANNIVERSARY」（21分、（株）アットアームズ）、他賞については、下記を参照のこと。
http://www.eibunren.or.jp/top/eibunren-award2010_4.html

〈表彰式〉 平成22年12月8日（水）10:00～。受賞作品の一部を上映。

〈会場〉 時事通信ホール（東京都中央区銀座5-15-8）

〈問い合わせ〉 映像文化製作者連盟
TEL 03-3279-0236 MAIL info@eibunren.or.jp

■ 「第17回マイタウンマップ・コンクール」作品募集

マイタウンマップ・コンクール実行委員会、（財）コンピュータ教育開発センター主催による標記コンクールの参加作品を募集している。

〈募集内容〉 「総合的な学習の時間」で学習したプロセスや成果をまとめたもの。部活動や自由課題で得られた活動成果をまとめたもの。新学習指導要領に基づいた教科実践で学習したプロセスや成果をまとめたもの。世代を問わずに地域学習をすすめる活動（公民館などでの生涯学習）をまとめたもの。地域を元気づけるような、個人やグループでの活動をまとめたもの。

〈応募資格〉 年齢、性別、国籍は問わない。応募数に制限なし。個人・グループ・団体での応募も認めるが、広告の性格の強いものは入賞の対象にはならない。応募費は必要なし。

〈作品形態〉 デジタル化（電子化）されたもの。作品は、郵送とインターネットを使っての応募方法がある。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.mytownmap.or.jp/>

〈募集期間〉 平成22年12月1日（水）～平成23年1月12日（水）

〈賞〉 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、総務大臣賞、外務大臣賞他。各賞には、パソコン、液晶プロジェクター、電子黒板などが贈られる。

〈入賞作品発表〉 平成23年2月21日（月）、公式サイトにて。

〈問い合わせ〉 マイタウンマップ・コンクール事務局 TEL 03-5259-8807

MAIL jimu@mytownmap.or.jp

各地の情報

■「山形国際ドキュメンタリー映画祭」作品上映会

東北芸術工科大学と山形国際ドキュメンタリー映画祭共催により、昨年開催された「山形国際ドキュメンタリー映画祭2009」の上映作品の中から、作品上映会を開催する。

〈日時〉平成22年12月15日(水) 17:30~
 〈会場〉東北芸術工科大学図書館2階 AVルーム
 (山形県山形市上桜田3-4-5)
 〈上映作品〉「オート*メート」(監督:マルチン・マレチェク/チェコ/2009)。入場無料・先着順。
 詳細は、下記を参照のこと。
<http://www.yidff.jp>
 〈問い合わせ〉東北芸術工科大学図書館
 TEL 023-627-2044

AV MATERIAL

文部科学省選定作品

■10月選定 〔紙〕紙しばい/〔E〕ビデオ/〔D〕DVD
 特選「沈金—前史雄のわざ—」〔D〕37分〈小学校(高学年)、図工/中学校、美術/高校、美術・工芸/少年・青年・成人、教養・情操(伝統工芸)〉(株)桜映画社

「かけっこ どん!」〔紙〕8枚〈幼児、教養〉(株)童心社

「原付ライダーのみなさんへ 危険を読み!死角を消せ!」〔E〕18分〈青年・成人、地域社会生活(交通安全・防犯)〉(株)映学社

放送番組・Web配信

中学生日記

(土) 19:15~19:45 / NHK教育

翌週(土) 13:00~13:30 / 再放送 NHK教育
 中部7県は翌週(土) 10:05~10:35 / 再放送 NHK総合
 ※都合により番組内容が変更となる場合があります。

■4日 中学生日記プレーバック「15ビート」(平成18年2月7日放送分)

※再放送(教育11日 シリーズ先輩③バイバイグランパ(平成22年11月20日放送分))

■11日 12月ガンバレ受験生シリーズ第1話「選択のとき」

■18日 12月ガンバレ受験生シリーズ第2話「空白のとき」

■25日 ぶっちゃけトーク 受験まで2か月!これをやらなきゃ受かりま10!

※再放送(教育・総合平成23年1月1日は、年末

年始特集のため休止)

発見!人間力

※放送曜日・時間は地域によって異なります。
 〈放送についての問い合わせ〉

(財)民間放送教育協会 TEL03-6406-2171

■116回 4日「寝たきりをなくせ! 診療所の『血圧先生』奮闘記」

(信越放送)

■117回 11日「子ども自身が考え 悩み 動ける 環境を にっぽん校庭芝生化大作戦!」

(日本海テレビ)

■118回 18日「つぶやく果物屋さん—近江町市場ツイッター部—」

(北陸放送)

■119回 25日「みんな主役になれ!—友情と絆の芝居15年—」

(新潟放送)

エル・ネット

教育、学習に利用できる400以上の動画コンテンツをインターネットで配信 (<http://www.elnet.go.jp>)。 (2ch 文部科学省から)

「生涯学習ドキュメント『発見!人間力』(其の103) いじめちゃいけない」

長野県飯綱町に住むタンザニア出身の小林フィデアさんの願いは、彼女の話を聞いた日本の子どもたちが、いじめについて考え、気づき、止める勇気を持ってくれること。NPOを立ち上げ、タンザニアの子どもたちの支援もしているフィデアさんの活動の根は、スワヒリ語の「ソーテサワサワ」、「人間はみな同じ」という意味の言葉。フィデアさんのシンプルで力強いメッセージが伝わってくるコンテンツとなっている。